



第66号 2019年 4月 1日

発行所／神山復生病院 〒412-0033御殿場市神山109 (Tel) 0550-87-0004 (Fax) 0550-87-5360
(E-mail) info@fukusei.jp (ホームページ) <http://www.fukusei.jp/>



《 理 念 》

神山復生病院は キリストの愛に基づいて 病める人も健やかな人も 神によって創られた人間として
喜びも苦しみも共にしながら 一人ひとりの命を大切に し 希望をもって医療と福祉に献身します

《 基本方針 》

- 1 患者様本位の医療
患者様一人ひとりの生活を重視し、地域のニーズに応えるサービスを提供します
- 2 職員の人材育成
優れた人材を育成するため、研修を充実し、専門・認定資格の取得を支援します
- 3 経営の安定化
病床利用率を高め、病院の経営状態を安定化します
- 4 地域包括ケアシステム構築への貢献
介護医療院と在宅事業部との連携を密にし、在宅医療・福祉に貢献します



春の訪れ

理事長・病院長 飛澤 彰

『さまざまな こと思ひ出す 桜かな』 (松尾芭蕉)

桜の花が咲き始め、春の訪れを感じる季節となりました。皆様には、日々心おだやかに過ごしの
ことと思います。

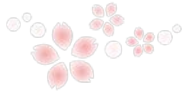
今年度は、当院にとって、大きな節目を迎えることになります。4月1日より、療養病棟が、「介護医療
院」に変わります。（「介護医療院」についての詳しい事は職員におたずね下さい。また、「かえでの森」
の前号 65 号を御覧ください。）

療養病棟は介護医療院に変わりますが、外来診療とホスピス病棟につきましては、今までどうりに行い
ますので、そのまま、ご利用いただきたいと思います。

なお、今回の介護医療院への転換に伴い、平成 29 年 4 月に開始しました訪問看護（マリア）と小規模
多機能型居宅介護（マリアの家）の在宅事業を含め、なお一層の充実をし、地域医療・介護・福祉に貢献
してゆきたいと考えておりますので、今後とも、よろしくお願い申し上げます。

今年は当院開設 130 周年になります。皆様に愛されてきた、この病院が歩んできた道を ” 思ひ出し”
ながら 更に前へ前へと歩み続けてゆきます。ご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

（追記 私は 4 月より、畠山敬一理事長の後任として、理事長（代表理事）に就任することになりました。
はなはだ経験不足ではありますが、よろしくお願い申し上げます。）



2019 年度 神山復生病院各部目標



診療部

医 局

- 1 全人的医療の実践 2 安全で良質な医療と介護の実践 3 地域医療への貢献と連携の強化

地域連携・医療福祉相談室

- 1 患者・家族からの医療相談・入院相談に丁寧に対応する
- 2 地域の医療介護福祉関連施設との連携・交流を更に強化する
- 3 常にホスピス病棟患者数を意識し、迅速に受け入れる

薬 局

- 1 適切な医薬品情報を発信し、安全な医療に貢献していく
- 2 入院・外来・在宅と様々な部署とより密な連携が図れるよう、職能向上に努める



栄養課

- 1 個別対応、栄養介入の充実を図る
- 2 専門職としての自覚をもち、質の向上に努める
- 3 安全で心のこもった食事の提供を心がける

リハビリ

- 1 介護医療院として、快適な環境を提供できるよう、多職種連携のもと支援していく
- 2 緩和ケアリハとして患者様のニーズに対応し、QOL 向上に繋がるよう工夫していく

看護部

全体目標

私達看護部は病院理念に基づき、一人ひとりの生命と尊厳を尊重した全人的ケアの実践に邁進する

教育目標

看護・介護の倫理的視点に基づいた実践ができる、職員の育成・支援を行う

介護医療院

- 1 看護・介護の倫理綱領に基づき、利用者を大切にしたケアを行う
- 2 人生の最期の時まで安心して生活できるように、尊厳を大切にした看護・介護を実践する
- 3 仲間を大切にできる、思いやりのある職場作りを一人ひとりが行う



ホスピス病棟

- 1 ホスピス緩和ケアの専門性を高め、より良い医療・看護・介護を提供する
- 2 スタッフ間の協力体制を構築し、働きやすい職場をつくる

外 来

外来看護における全人的ケアを実践する



事務部

- 1 患者様から選ばれる病院となる接遇を行う
- 2 病院の経営安定化の為に対策を立てる
- 3 「報告・連絡・相談」を確実に言い、情報共有を図る
- 4 介護医療院稼働後の業務をスムーズに行う
- 5 病院の質評価に見える化する為に、評価指標のデータ化を進める
- 6 診療報酬・介護請求を確実に言う

訪問看護ステーションマリア

- 1 利用者数を確保、維持し経営の改善に繋げる
- 2 利用者・家族が安心して自宅での生活が送れるように支援する
- 3 訪問看護師としての知識・技術・資質の向上に努め、利用者が満足できる看護を実践する



小規模多機能型居宅介護事業所マリアの家

一人ひとりの利用者様とそのご家族の思いを尊重し、「通い」「泊まり」「訪問」のサービスを提供する



2018 年度成果研究発表会



2018 年度神山復生会成果・研究発表会を 3 月 14 日に開催しました。

「看護と介護の協働について考える～看護と介護が気持ちよく共存するために～」

マリアの家 伊藤 佳子

開設から 2 年が経とうとしているマリアの家ですが、今回看護と介護の協働について職員にアンケートを実施しました。結果は、ほぼ協働出来ているという回答が得られました。

また、病院の職員の方々にも、マリアの家の状況を分かっただけの機会となりました。今後の課題としては、地域の方々が、「住み慣れた自宅で暮らしたい」という思いに応えるべく、看護と介護の協働を高め、“通い”泊り“訪問”のサービスを充実させていきます。そのためには、私たちマリアの家のケアマネジャー、介護福祉士、看護師は職種の垣根を超えて協力する心を大切にして、利用者の方々のケアに携わっていききたいと思います。

「茶話会に対する遺族への意識調査～グリーフケアにつながる茶話会への課題」

ホスピス病棟 横山 智子

今回、院内で行われている茶話会が、遺族にとって希望する会になっているのか、また参加の理由が都合が悪いだけなのか、アンケート調査を行った。結果から、参加者にとって茶話会は期待通りと満足を得ていた。欠席の理由としては、少数意見から後悔や、入院期間が短い等、家族にとっては辛い体験など、精神的な要因が含まれていた。今後の課題としては、入院中からの予期悲嘆に関するケアの意識づけや、遺族のニーズに合わせた茶話会の開催回数の検討など、病院行事として運営できるように、院内で検討を行っていききたい。

「静岡県身体拘束廃止推進員研修実践報告～身体拘束・スピーチロックとは～」

療養病棟 内海 百代

身体拘束の中でもスピーチロックとは言葉によって行動を制限してしまう事です。コミュニケーションとして使う言葉がスピーチロックになるという危険はどこにでもあることです。

しかし、私たち職員は同じではありません。職員として意識を高くもち、スピーチロックを行わない環境づくりをめざし職場全体で取り組むこと、施設での研修経験を活かし、新しく生まれ変わる介護医療院へ繋がっていききたいと思います。

「危険予知トレーニング（KYT）導入における成果」

療養病棟 蜂屋 雅美

今回、療養病棟では KYT（危険予知トレーニング）に取り組みました。KYT は産業界で、労働安全衛生を先取りするものとして日本で開発され、近年は医療界においても関心が高まっており、医療安全の取り組みの一つとして様々な病院でも取り入れられています。そこで今回、看護研究として KYT シートを活用し職員がどんな危険が潜んでいるかを考える力を養ってきました。職員は学んだ事を業務に活かそうと積極的に、KYT に取り組んでおり KYT 導入後のアンケート結果では、職員一人ひとりの『危険』を事前に予知・予測する能力、危険に対する意識が高まりました。KYT は繰り返し、継続する事が有効であると言われています。

来年度も KYT を継続し、危険に対する意識を高く持ち続け、事故のない安全な病棟を職員全員で目指していきたいと思っています。



看護部長の挨拶



質問も多く出ました



多くの職員が参加しました

外 来 担 当 表

心療内科、緩和ケア外来は予約制



	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午 前	内科(平田) 心療内科(飛澤)	内科(平田)	内科 (平田・江藤)	内科 (平田・江藤)	内科(江藤) 心療内科(飛澤)	内科 (第2・5 岡部) (第1・3・4 中尾) 心療内科(飛澤) 皮膚科	休 診
午 後	休 診	休 診	休 診	緩和ケア外来 (平田)	休 診	休 診	

※ 2月より毎週土曜日の内科外来を行っております。皆様ご利用下さい。



皮膚科外来予定表

太田 有史 医師	診察日	4 / 6 ・ 5月の診察なし ・ 6 / 1
白井 暁子 医師	診察日	4 / 13 ・ 5 / 11 ・ 6 / 8 4 / 20 ・ 5 / 18 ・ 6 / 15 6 / 29
石地 尚興 医師	診察日	4 / 27 ・ 5 / 25 ・ 6 / 22 (関口医師代診)

都合等により、休診や代診場合があります。お電話でお問い合わせのうえご来院下さい。

創立 130 年記念 映画上映会のお知らせ

かえでの森 64 号でご紹介させて頂いた、昭和 9 年制作の「財団法人神山復生病院実況」、昭和 24 年制作の「映画 復活」の 2 本の映画（フィルム）の上映会の日程が決まりました。5 回の上映日を予定しています。各回、定員がありますのでお早目のご連絡をお勧めします。

上映日 6月15日(土)・7月13日(土)・8月10日(土)・9月14日(土)・10月12日(土)

時 間 午後1時30分～午後2時30分

場 所 復生病院敷地内 旧会議室

定 員 各日 40 人 (定員になり次第締め切らせていただきます。)

その他 高校生(15 歳)以上

問合せ 火曜・水曜・木曜の 9 時～16 時(12 時～13 時は除く)

復生記念館 (0550-87-3509) へご連絡下さい。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。



尚、5 月 13 日より復生記念館別館で「6 代目院長 岩下壮一展」を開催します。こちらへもお越しください。

編集 後記



今年も桜の季節がやってきました。当院の敷地内の桜も咲き始めています。2 年前から在宅部門の事業を立ち上げ、今年度は、療養病棟を介護医療院に転換いたします。今後は、更に地域医療・介護・福祉に貢献していきます。

今年度も「かえでの森」で 2 ヶ月に 1 回復生会の様子をお伝えしていきますので、お楽しみに・・・

←修道院側の桜並木



ヨゼフ棟前の枝垂れ桜も咲き始めました

